

第24期 第10回 常任理事会議事録

日時 昭和62年9月11日(金) 13:30~17:30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元, 関口, 竹内, 中村, 土屋, 能登, 荒川,
村上, 浅井

議題

A. 報告事項

1. 第24期第9回常任理事会議事録の確認について

一部修正のうえ確認された。

2. 各委員会報告

〔庶務〕

(1) 資料にもとづき報告があった。主なものは次のとおり。

ア。「日本学術会議だより」第6号の機関誌への掲載依頼。

イ。「第25回理工学における同位元素研究発表会」の共同主催の依頼。

ウ。「第12回レーザーセンシングシンポジウム」の協賛および機関誌への掲載依頼。

エ。「地球観測シンポジウム」の協賛および機関誌への掲載依頼。

オ。「第24回秩父宮記念学術賞」授賞候補者の推薦依頼。

(2) パソコンを事務室に設置した。(8月初め)

(3) 国内会員管理用データベースのソフトを開発中。

(4) 事務局員が来年3月退職する。

〔会計〕

資料にもとづき7月分および8月分の収支状況について報告があった。また、気象集誌特別号(NWPシンポジウム論文集)出版の収支概算見積について説明があった。

〔天気〕

8月号の目次および9月号, 10月号の予定内容が示された。

〔気象集誌〕

(1) 英文校正(試行)についてのアンケート回答の結果について報告があった。この結果にもとづいて英文校正の実施(案)について10月の理事会に提案したい。

(2) 気象集誌印刷の新しい方法, コンピュータ/レーザプリンターによる英文ドキュメント, 印字・版下作成システムについて説明があった。これを採用するとコス

ト・時間とも大幅な削減が可能になるので導入を検討していきたい。

(3) 気象集誌特別居の寄贈先リスト(案)が示された。

〔気象研究ノート〕

気象研究ノートは第156~158号が発刊, 159号, 160号が印刷中との報告があった。

〔講演企画〕

(1) 7月31日秋季大会のプログラムの編成を行い, その結果, 口頭によるもの187編, ポスターセッション20編となった。

(2) 昭和63年度春季大会(気象大学校担当)の日程が昭和63年5月18日~20日に決定した。

〔教育と普及〕

第21回夏季大学「新しい気象学」教室を8月3日~6日まで気象庁講堂で開催した。テーマは「雲と大気の状態」, 参加人員86名。関西支部は第9回夏季大学を7月28日~30日まで大阪府立労働センターで開催した。テーマは「新しい天気予報」, 参加人員92名。北海道支部は第5回夏季大学を7月29日~30日まで札幌市青少年科学館で開催した。テーマは「冬の気象-II」, 参加人員37名。

〔学術会議〕

(1) 第14期日本学術会議会員の選出に係る学術研究団体の登録申請の結果登録された旨の通知があった。

(2) 昭和63年度文部省科学研究費補助金(二段審査に係るもの)の審査委員候補者の推薦をした。

〔国際学術交流〕

国際学術交流基金の外部団体への募金依頼について委員会検討の趣意書, 全体計画(案)が示された。10月の理事会に提案したい。

〔総合計画〕

カナダのパンクーパーで開催されたIUGG総会に出席した浅井理事から, 会議の概要について報告があった。

また, 1993年に開催されるIAMAP総会の開催国として山元理事長名で立候補の意志表示を行った旨報告があった。

B. 審議事項

1. 会員の新規加入について

個人会員桜沢登はか44名の新規加入が承認された。

2. 昭和63年度予算案および事業計画案について

資料にもとづいて担当理事から説明があった。今後、理事会、常任理事会で検討を行いながら最終案を作成することが了承された。

事業計画案については10月の理事会までに計画案を作成する。

3. 山本賞について

昭和62年度山本賞受賞候補者の全理事による投票の結果、賛成多数で林祥介会員に決定した。

4. 堀内基金奨励賞について

「堀内基金奨励賞」の設立について全理事による投票の結果、賛成多数で設立が承認され、臨時総会に提案することになった。

5. 奨励金について

8月25日(火)に選考委員会を開き、受領者選定規定に従って、入田央会員(岐阜地方気象台)、三品博会員(釧路地方気象台)、榑原保志会員(東京都目黒区立第二中学校)の3名を推薦する旨、担当理事から選考経過の説明と共に理事長に報告があった。これにより規定に従って選定理由書を付して全理事の投票を行うことが了承された。

また、奨励金を増額することが認められ、奨励金候補

者および各賞推薦委員会で具体案を審議することが了承された。

6. 大会プログラム編成方法の一部改正について

村上担当理事から、より柔軟なプログラム編成を可能にするため、講演申し込みの要領の中で「希望部門の分類」を「内容の分類」に改めたい旨説明があり承認された。

7. 委員の交替および追加について

講演企画委員の交替と追加委員が承認された。

交替 新 神沢 博(国立極地研究所)

旧 青木周二(国立極地研究所)

追加 広田 道夫(高層気象台)

8. 第24期第4回理事会(10月14日)の議題について

検討の結果、次の議題が承認された。

(1) 昭和63年度予算案および事業計画案について

(2) 国際学术交流基金の募金について

(3) 気象集誌の印刷方法および英文校正について

(4) 奨励金について

(5) 堀内基金奨励賞について

(6) 臨時総会について

「本だな」の充実について

本誌では、情報化時代と言われる現代に適合するよう、なるべく多くの情報を掲載するように努力しています。その一環として、「本だな」にできるだけ多くの新刊書の情報を掲載したいと考えております。書評だけでなく新刊紹介をも含めた形で編集をいたしますので、会員からの投稿をお願いします。編集委員会宛に1冊寄贈

して下されば、適当な方を選んで書評または新刊紹介を書いていただくようにいたします。やむを得ない場合には、著者・書名・頁数・発行所(書店)・発行年月だけでもお知らせ下されば、情報の欄に掲載します。

(天気編集委員会)

日本学術会議第14期会員候補者の選考について

気象学会では、標記候補者を選考し、学術会議に昭和63年2月1日までに届出ます。

会員内から選考対象者を募集しますので、応募者(自

薦を含む)は昭和63年1月16日(土)までに申込んで下さい。詳細は12月号にてお知らせします。

学術会議会員候補者および推薦人の選考委員会